

春の叙勲

瑞宝単光章

前国見町消防団長
鈴木 耕治さん (川内)



前国見町消防団長の鈴木耕治さんが平成29年春の叙勲の栄誉に輝きました。

鈴木さんは昭和54年に国見町消防団に入団し、平成25年から平成27年まで団長を務められ、平成28年に退団されるまで、37年間の永きにわたり町消防団の発展にご活躍されました。

「火災はとにかく予防が大事。火が出てからでは遅いんです」と語る鈴木さんは、予防消防こそが最も重要であると考え、防火診断、防火査察、火災予防の広報活動など、防災意識の啓発を積極的に推進されました。

今回の受章について、鈴木さんは「妻をはじめ、地域住民、消防団員、関係機関のみなさんのおかげです」と振り返り、「今後は一町民として、微力ながら安全・安心のまちづくりに尽力します」と話されていました。

太田町長に受章を報告

鈴木さんは5月16日、国見町役場を訪れ、太田久雄国見町長に受章を報告しました。

鈴木さんは皇太子殿下より授与された勲記と勲章を披露し、太田町長は「受章

おめでとうございます。長年の消防団活動へのご尽力に心から敬意と感謝を表します。今後も町の安全、安心のために支援をお願いします」と祝福しました。鈴木さんは「期待にそえるよう頑張ります」と話していました。

▶太田町長(左)に勲記と勲章を披露する鈴木さん(右)



「質問のできる自習室」がオープンしました

『放課後スタディールーム』

- ◆開設日時 毎週(木)午後4時から午後6時まで
- ◆対象者(登録制) 小学4年生から6年生の希望者

放課後
スタディールーム

観月台
フリー学習室

土曜学習室

町は、子どもたちの学習環境の向上と地域での子育てを支援するため、小学生、中学生、高校生を対象とした「質問のできる自習室」をオープンしました。自習室には学習指導員を配置し、いつでも気軽に質問することが出来ます。利用者からは「ずっとこういう場所があればいい」と思っていた「家より集中できる」「学校で聞きそびれたことを質問できるのがうれしい」などといった声がかかれ、リピーターも増えています。ぜひ、お友達を誘ってご利用ください。

利用者の声



赤坂七海さん(高3)と渡邊千紘さん(高3)

今までは、高校の授業が終わって電車で国見町に帰ってきて勉強できる場所がなかったのがうれしいです。基本、しゃべってはいけない学習室がほとんどですが、ここでは友達と教え合うことができ、指導員の方もフレンドリーなので課題や試験対策など気軽に質問できて、とても助かっています。(観月台フリー学習室利用者)

『観月台フリー学習室』

- ◆開設日時 平日午後6時から午後9時まで
- ◆対象者 中学生、高校生

観月台文化センター
地下1階演習室で開催
申込み不要!

『土曜学習室』

- ◆開設日時 毎週(土)午後1時から午後5時まで
- ◆対象者 小学5・6年生、中学生、高校生

【問い合わせ】生涯学習課 ☎585-2676

『国見町食卓図鑑PART2』完成

ここにしかない!「国見ならではの」おいしい宝もの

昨年10月23日に観月台文化センターで開催した「第2回国見町食の文化祭」では、みなさまの温かいご協力により150品の家庭料理を出品いただき、素晴らしい国見町の宝ものが大集合しました。

国見町の食文化の「こころ」と「技」を後世に引き継いでいくために、料理のレシピを一冊の記録集に取りまとめた「食卓図鑑」の第2弾がこのたび完成しました。ご協力をいただいたみなさまに心から感謝いたします。



- 目次【全114ページ】
- ◆特集 くみみ流豊かな食のフォーラム
 - ◆国見町の食卓レシピ集(全150品)
 - ◆食の伝承の取組み(食の資料編)
 - ◆国見町の食材100選 旬のカレンダー

なお、本誌に掲載されている料理の一部は、5月にオープンした道の駅国見「あつかしの郷」内のレストランでお楽しみいただけますので、ぜひご利用ください。

今後も国見町の豊かな食文化を再発見し、広げ、伝えていきたいと考えていますので、みなさまのご協力をよろしく願います。

ご希望の方には冊子を差し上げますので、企画情報課までお越しください。

福島大学&桜の聖母短期大学 域学連携による地域づくり

町は、今年度も福島大学と桜の聖母短期大学との域学連携事業を展開し、地域住民のみなさんと一緒に大學生のアイデア・若い力を活用した地域課題の発見と解決に向けた取り組みを行います。

福島大学では、行政政策学類の岩崎由美子ゼミの学生17人が5月9日、伝統工芸の「しめ縄」の継承に取り組みするため、内谷地区でしめ縄専用の苗を植えました。今年で4年目となる内谷集落活性化事業の一環で実施したもので、学生は地区のみなさんに教わりながら丁寧に苗を植え、交流を深めました。



苗を植える福大生



摘果作業を体験する桜の聖母短大生

また、桜の聖母短期大学では、食物栄養専攻の学生33人が5月24日、国見町の魅力を探るフィールドワークを行いました。同大学では食育の一環として、これまでモモを使ったスイーツの考案に取り組み、道の駅国見あつかしの郷での商品化を実現しました。今年度はリンゴを使ったスイーツの開発を目指します。スイーツの考案に先立ち、国見町について知ってもらうため、阿津賀志山防塁や奥山家住宅を見学したほか、モモやリンゴの摘果を体験し、理解を深めました。